

目標達成計画

作成日：平成 23年 11月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		経過記録に利用者の日々の様子が詳細にわかるように記載されているが、今後も支援経過記録の記載の充実を図る取り組みが必要である。	ケア計画に基づいた支援をどう提供させて頂いたか？日々の生活にどう繋がって行ったか？自分たちの支援方法を日々誰が見てもがはっきりつかめるような記録をする。	個人ケース記録方法を、ケア計画に基づいた支援をどう提供させて頂いたか？その支援の結果、日々の生活にどう繋がって行ったか？の書き方に変更した。	6ヶ月
2		今後も成年後見人制度について研修を重ね、全職員で理解を深め制度の利用の必要性がある利用者や相談があれば速やかに制度利用ができるよう、周知を図る取り組みが望ましい。	成年後見人制度の外部研修会に参加するとともに、同一建物にあるケアホーム・就労支援施設で日常生活支援事業・成年後見制度の研修に参加しているが、今後も尚一層の制度理解を全職員が出来るような体制作りをする。	今後も外部研修参加すると共に「成年後見制度」「日常生活自立支援事業」についての、同一の建物内のケアホームで実施される研修に職員が参加し、参加した職員が講師となり研修を開催し全職員に理解と浸透を図っていく。	1年
3		運営推進会議は、事業所が地域密着型サービスとしての役割を果たすために、運営推進会議のメンバーが協力者やモニター役となってくれることが重要であるため、メンバーの人が積極的に関わられるよう働きかけていくとが望まれる。	事業所運営方法、利用者状況を報告し参加メンバーから意見や要望を聴取し運営に反映させるように取り組むことを続けていき、参加いただいている方、特に地域の方の負担にならない程度に協力いただくように心がける。	今後も2ヶ月一度開催する、事業所運営方法、利用者状況を報告を行い、気軽に意見いただき良い情報得て協力頂けるような運営推進会議に努める。	2年
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。